

馬込アートギャラリー 熊谷恒子関連常設展

熊谷恒子の世界 第Ⅰ期『いろは帖』

2026年2月1日(日)～6月28日(日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日：毎週月曜日(2月23日(月・祝)及び5月4日(月・祝))は開館、2月24日(火)及び5月7日(木)に休館、1階展示替え休館(5月11日(月)～5月22日(金))

入館料：無料



勲五等宝冠章受章の熊谷恒子、1967年(74歳)

今年2月に開館した馬込アートギャラリーは、区民から寄贈された大田区ゆかりの作品を所蔵・展示し、地域の創造力を育む施設です。熊谷恒子記念館から徒歩2分程度にある同ギャラリーの2階展示コーナーにおいては、書家・熊谷恒子(1893～1986)の愛用品を通して、かな書家の歩みを紹介する常設展を設置します。

恒子は、代々医者の家系である江馬家の次女として京都に生まれ、昭和期に女性かな書の第一人者として活躍しました。1914年に熊谷幸四郎との結婚を機に京都から東京へ転居します。1936年には大田区に自宅(現・熊谷恒子記念館)を構え、晩年まで暮らしました。記念館においては、当時の雰囲気再現し、所蔵作品を展覧会にあわせて公開・展示しています。

バリアフリーが整備された馬込アートギャラリーの常設展では、五禾書房が1957年に発行した『いろは帖』の複製や書道具類を中心に展示し、恒子の経歴を紹介します。

【ギャラリートーク】

2月23日(月・祝)、2月28日(土)、3月14日(土)
4月25日(土)、5月3日(日・祝)

各日14:00から2階展示コーナーで実施します。

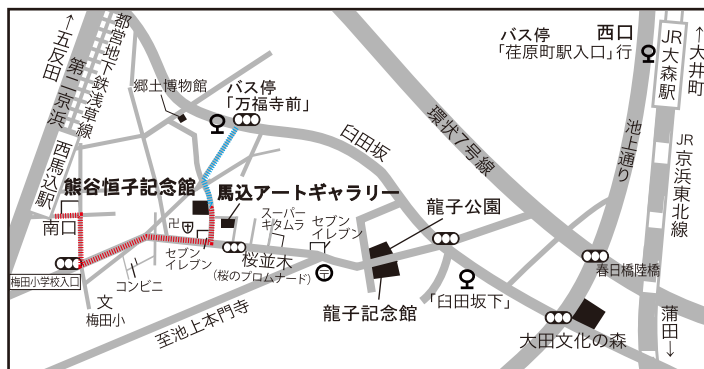
【アクセス】

■JR京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番

「荏原町駅入口」行乗車「万福寺前」、下車徒歩5分

■都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口

南馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩10分



大田区立馬込アートギャラリー

Ota City Magome Art Gallery

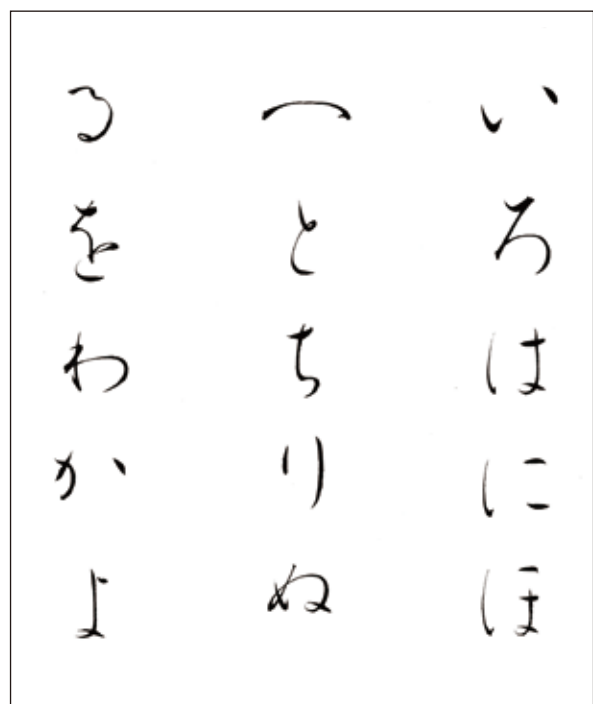
〒143-0025 東京都大田区南馬込4-10-4

TEL:03-6410-7960

<http://www.ota-bunka.or.jp/mag>



さがくかなでる ひびく
公益財団法人 大田区文化振興協会



熊谷恒子『いろは帖』(部分)、1957年
五禾書房刊行、大田区立熊谷恒子記念館所蔵